

2021年10月26日

令和二年草の根・人間の安全保障無償資金協力（スリナム）  
クワタ農産物市場鮮魚・精肉売り場改修計画供与式

2021年10月20日（水）午前11時30分より、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるクワタ農産物市場鮮魚・精肉売り場改修計画供与式が首都パラマリボのクワタ市場で行われ、サントキ大統領、セウディエン農業・畜産・水産大臣、ヒラシン・ワニカ北西地区委員、ジャバンダン・クワタ農産物市場会長、その他関係者が出席しました。

クワタ農産物市場は、日本政府から総額115,218米ドルの支援を受け、鮮魚・精肉売り場の冷蔵設備を中心とした改修・拡張を行いました。このプロジェクトにより、市場での生産者から消費者への提供機会が増すとともに市場内の衛生環境が国際基準を満たすように改善されることが期待されます。

靖書記官は挨拶の中で、平山大使よりのメッセージを伝えた後、改修・拡張に尽力されたクワタ市場の関係者の忍耐力と熱意ある努力を称賛しました。またプロジェクトの完成目前に逝去されたブランケンダール前会長の多大な貢献を称えた後、スリナムと日本の永続的な関係を強調し、両国が共有する基本的な価値観を確認し、本プロジェクトが両国の友好と協力の象徴となることを願うと述べました。

サントキ大統領は、日本政府との協力関係と本プロジェクトへの支援に感謝の意を表し、本プロジェクトは、スリナムの農業部門の能力拡大に向けた取り組みの一例であると述べました。同大統領は、農業分野はスリナムの発展において重要な役割を果たしており、農業国であるスリナムは日本の食料安全保障にも貢献することができ、ウィン・ウインの関係を築く可能性がある、平山大使の来訪を心待ちにしていると述べました。

ジャバンダン代表は、クワタ農業市場の歴史と成長の過程を説明した後、日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力による二度の支援が市場の発展に果たした役割を強調しました。現在、生産者は、ワニカ、パラマリボ、サラマッカ、コロニー、ニッケリー、コメワイン、パラの7地区から集まり、週4日開かれる同市場で販売しています。今後は、カリコム域内での輸出販売を視野に入れ、大規模農家の発掘と認証を行っていく予定です。

日本は、これまでスリナムに対し、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて19の地域開発事業、140万米ドル相当の支援を行ってきました。日本政府は、両国間の友好と相互理解の絆を強化し、スリナム政府および国民と協力するさらなる機会を歓迎します。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



左から、ジャバングン代表、ヒラシン委員長、サントキ大統領、セウディエン農業・畜産・水産大臣、埴書記官



テープカット



完成した市場増設部分



サントキ大統領挨拶



セウディエン農業・畜産・水産大臣



埸書記官



ヒラシン・ワニカ北西地区委員長



ジャバンドン・クワタ農産物市場財団代表